

# 主要仕入先との取引形態変更 および今後の取り組み

2017年11月28日

株式会社PALTEK  
代表取締役社長 矢吹 尚秀

© 2017 PALTEK Corporation. All rights reserved.

## 本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したもので、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努める所存であります。

なお、本資料においては、将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は当連結会計年度末現在において判断したものであります。

また、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- ① 国内エレクトロニクス業界の急激な景気変動や需要動向の変化
- ② 仕入先の代理店政策の見直しや再編等により取引関係の継続が困難となった場合
- ③ 不測の事態による当社グループの情報資産が流出した場合
- ④ 為替相場の急激な変動
- ⑤ 新規仕入先商品の立ち上がりの遅れが生じた場合
- ⑥ 顧客の日本国内での製品開発案件が更に海外へシフトし、当社グループの販売活動が及ばない地域へ移管された場合

- ① 主要仕入先との取引形態の変更
- ② 今後の取り組み

- ① 主要仕入先との取引形態の変更

## FPGAについて

- 非常に高度な機能が1チップに集約された半導体
- ロジックだけでなく、プロセッサ、インタフェース、メモリなどが1チップに
- 半導体の規模も大型化

## FPGAの技術サポートについて

- 近年では新しい市場(車載分野など)を創出する際には製品コンセプトレベルでのサポートが必要となるため、メーカーによる直接的なサポートの必要性が増してきている
- 今までお客様の技術サポートは代理店で行っていたが、技術的に非常に高度なサポートの場合はメーカーで直接対応が必要となってきた
- 収益性と技術サポート負荷のバランスが崩れ始めている

## 今後のPALTEKの役割

### 主要大手顧客向け

- 販売・物流オペレーションのみ(その他はメーカーで対応)

### その他の顧客向け

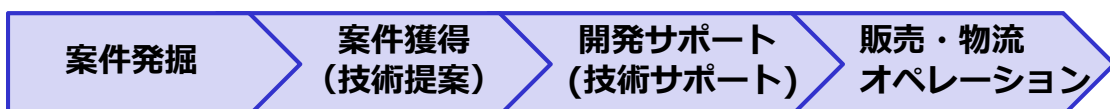
- 従来どおり案件発掘、案件獲得、技術サポート、販売・物流オペレーションなど全般

# ザイリンクス社との取引形態の変更

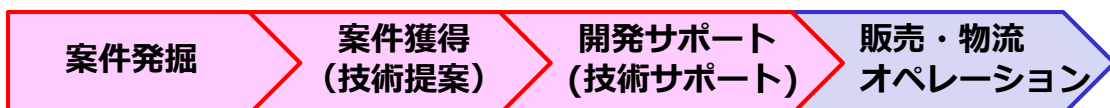
## 取引形態の変更内容

- 2018年1月より、主要大手顧客でのFPGA販売において販売・物流オペレーション業務のみを実施
- 取引形態変更により、売上利益率は大幅に低下
- その他の顧客は、変更なくPALTEKがすべて担当

### 今までの販売活動 (すべてPALTEKが担当)



### 2018年1月以降の主要大手顧客への販売活動

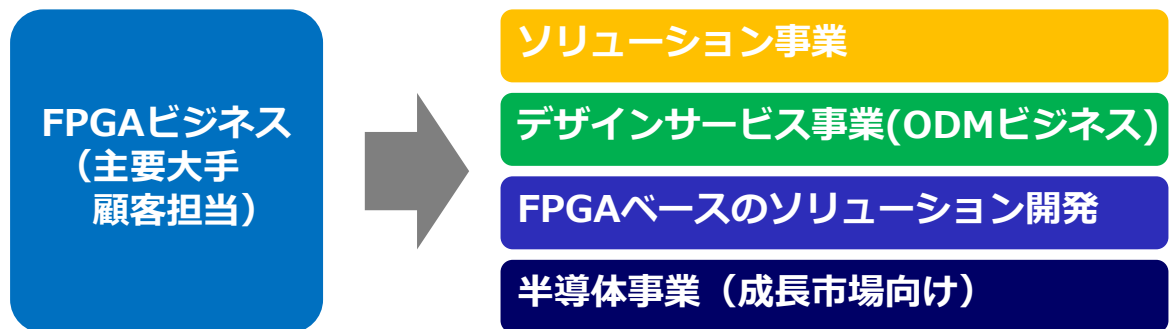


: PALTEK担当

: ザイリンクス社担当

- 取引形態変更は、2018年1月から実施
- 2017年12月期業績には影響なし
- 2018年12月期以降への影響
  - 主要大手顧客向けの売上総利益率が大幅に低下するため2018年12月期では2017年12月期から最大7.5億円の売上総利益が減少することを想定
  - なお、対象顧客への販売は当社から行うため、当該合意に基づく売上高の減少はなし

- FPGAビジネスにおける主要大手顧客向けのリソース（営業・技術）を戦略的に新規事業、既存事業に振り向ける
  - ソリューション事業の営業力強化
  - デザインサービス事業（ODMビジネス）の営業力強化
  - FPGAをベースにしたソリューションの開発、販売
  - 成長市場向けの半導体ビジネス強化



## ■ これまでの事業セグメント

<b>半導体事業</b>	半導体・ボード、IPなどの販売
<b>デザインサービス事業</b>	設計受託、ODM、自社製品開発・販売
<b>その他</b>	スマートエネルギー事業、その他

## ■ 今後の事業セグメント

<b>半導体事業</b>	半導体・ボード、IPなどの販売
<b>デザインサービス事業</b>	設計受託、ODM
<b>ソリューション事業</b>	各種ソリューションビジネス、自社製品開発・販売

## ■ 経営方針

- ソリューションサプライヤーとして社会的意義ある価値を創出し、ニーズとシーズを照らし合わせた、付加価値の高い製品提案、ソリューションの開発
- 収益性の高い経営を目指す

## ■ 各事業の方向性

**半導体事業**

成長市場にフォーカスし、安定的に収益を上げていく事業ポートフォリオを構築

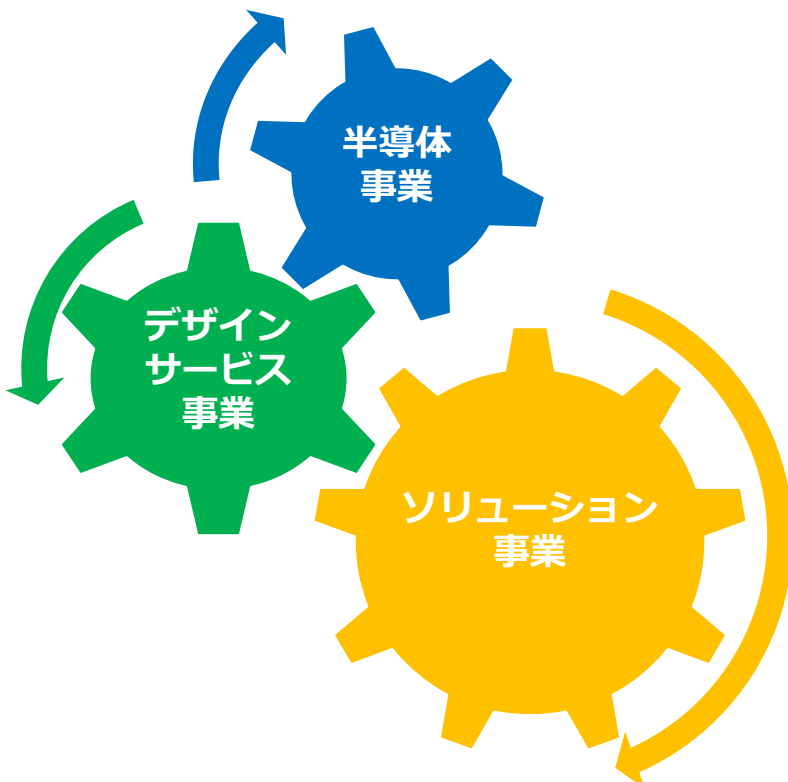
**デザインサービス事業**

画像処理・FPGA設計などコア技術の強みを活かし、ODMビジネスを拡大、収益性を向上

**ソリューション事業**

培ってきた技術力をベースに、最終製品レベルのソリューションを開拓、開発、販売

## 既存ビジネスをベースにした ソリューション事業への発展



<半導体事業>  
成長市場に向けた  
トータルソリューション提案

<デザインサービス事業>  
ODMビジネスの拡大  
～医療、航空・宇宙、  
放送/映像、産業機器、  
IoT、インフラ分野～

<ソリューション事業の拡大>  
・ビデオソリューション  
・IoTソリューション  
・物流ソリューション  
・ソリューションビジネス開拓

**ソリューション提案力を加速、新市場へ積極展開**

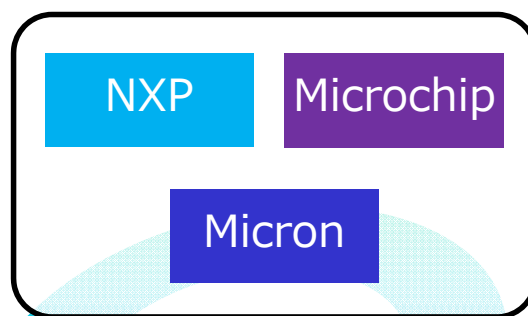
## 収益性を高める施策

- 次のアクションで収益性の向上を図る

半導体事業	成長市場向けビジネスの強化
	FPGAベースのソリューション開発・販売
デザインサービス事業	ODMビジネスの強化
ソリューション事業	ビデオソリューションの強化
	タイヤ空気圧監視システムの販売強化
	紙梱包資材ビジネスの販売強化

## 半導体事業の構成

【汎用IC・メモリ】幅広いマーケットに訴求



【FPGA】ソリューション提案/開発販売



【特定用途IC/ソフトウェア】有望プロダクトを強化



## ■ 成長市場向けビジネスの強化

- リソースを強化し、成長市場顧客層を拡大
- FPGAと親和性の高い半導体製品のマルチ提案加速  
(メモリ、電源、センサー、CPUモジュールなど)

## ■ FPGAベースのソリューション開発・販売

- 顧客ニーズにあったFPGAベースの製品を開発し、販売  
(評価ボード、モジュールなど)

【事例】

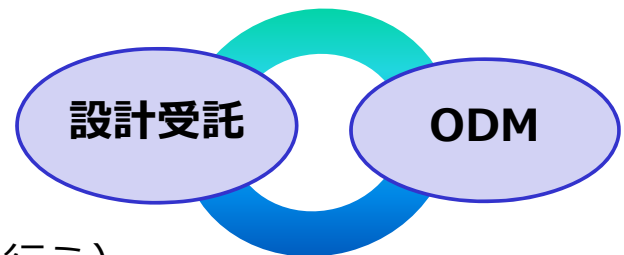
- FPGAコンピューティングプラットフォーム  
「DATA BRICK」など



## ■ 製品実現に向けた提案から試作・評価・量産までを設計・製造受託

## ■ 事業構成

- 設計受託
- ODM  
(設計だけでなく、製造も行う)



提供するサービス



強み





# PALTEKのデザインサービス事業の強み

- コアの技術を保有
  - 画像圧縮技術（コーデック）
  - FPGAの設計ノウハウ
- 商社機能
  - 商社の営業力を活用した継続的な案件獲得
  - 半導体製品の技術サポート
  - 部品調達力
  - 情報収集力
- 設計・製造における協力会社のマネジメント能力
- 上記の強みを活かしたコンサルティング



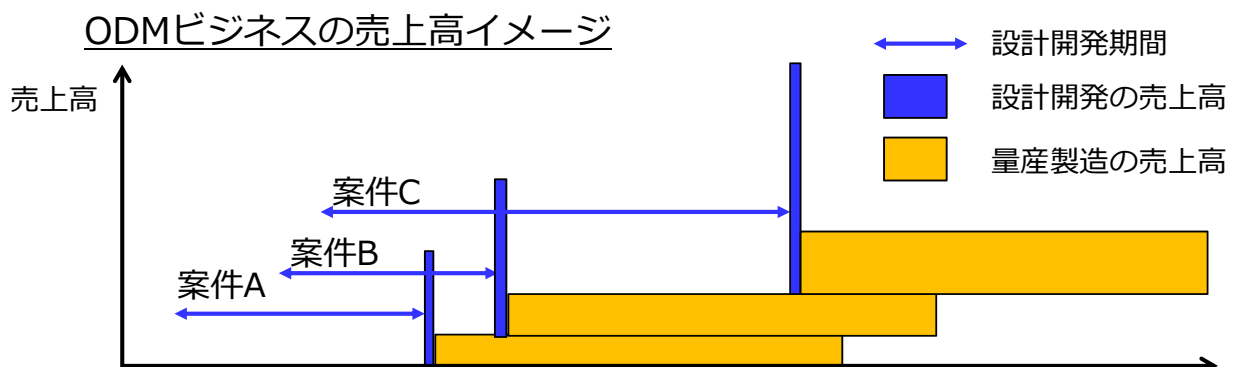
# ODMビジネスの強化

## ■ ODMビジネス



### 【お客様のメリット】

- PALTEKのFPGA技術力を活用し、開発期間を短縮・開発費を低減
- 仕様検討から量産まで一貫した対応で、顧客の負荷を低減



## ■ ODMビジネスの営業力強化

- FPGAビジネスのリソースを振り向ける
- リソース不足で開拓しきれていなかった案件を獲得

## ■ 自社製品を活用し、ODMビジネスに展開

- 映像・セキュリティ・医療分野向け
  - 4K対応H.265/HEVC映像伝送システム
    - 2018年から産業機器向けODMで量産製品を供給予定



- HPC(High Performance Computing)、クラウド分野
  - FPGAコンピューティングプラットフォーム「DATA BRICK」など



## ■ PALTEKの展開するソリューション事業

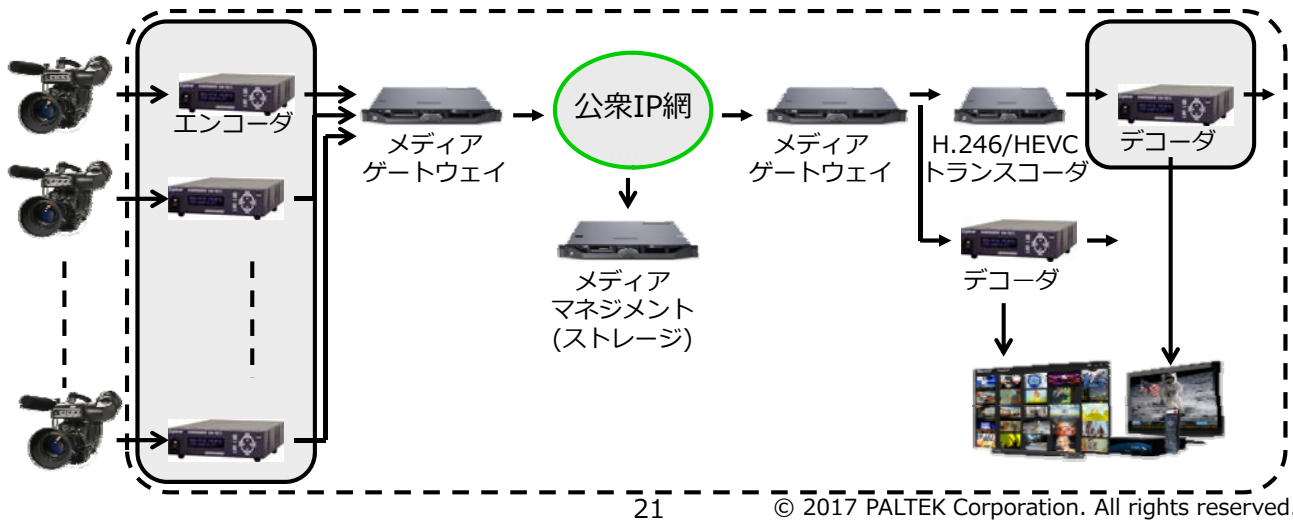
- 半導体事業、デザインサービス事業で培ったシステム提案力、技術サポート力をベースに展開
- 最終製品レベルでのソリューション提案を実施
- 自社製品（ハードウェア、ソフトウェア、システム）の開発・販売

## ■ ソリューション事例

ビデオソリューション	映像配信システム、4K 360°VR映像配信
IoTソリューション	車載関連(TPMS)、製造機械監視システム
物流ソリューション	紙梱包資材システム
エネルギーソリューション	停電対策システム

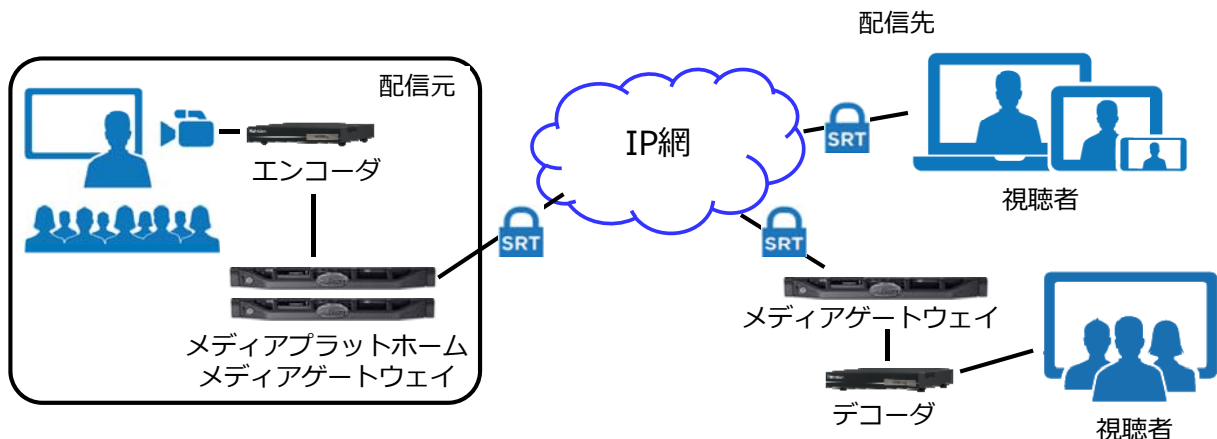
## ■ ビデオソリューションのシステム概要

- カナダHaivision社製品とグループ会社エクスプローラ製品を組み合わせ、映像配信に関連するシステムを提供
- 【ターゲット市場】  
防衛、医療、セキュリティ、映像配信メディア分野など



## ■ 動画コンテンツ配信（メディアプラットフォーム）

- 放送向け品質保証、個人端末へのアクセス制御対応可能
- コンテンツ保護
- 企業・サイト間のファイヤーウォール
- 多くの端末からの同時アクセス



## ■ 4K対応360°VR動画配信ソリューション

- 4K対応H.264/AVCエンコーダ装置と4K360°カメラを使用した360°VR動画配信ソリューション
- Youtubeライブストリーミングへ動画をアップロード可能



## ■ LDL社製 タイヤ空気圧監視システム(TPMS)の概要



受信機間のワイヤレス通信により、  
タイヤの空気圧および温度情報を伝達

タイヤの空気圧および温度情報は、  
運転席のディスプレイに表示



- ディスプレイ  
(表示機兼受信機)



- レシーバコントロール  
ユニット  
(RCU、中継器)



- ホイールユニット  
センサー  
(WUS)

- 法制化:車両総重量3.5t(米国は4.5t)以下の車両へのTPMS装着の義務化進む

国・地域	装着義務化の開始時期	対象車両
米国	2005年～	車両総重量4.5t以下（ダブルタイヤ装着車両は除く）
欧州	2012年～	M1, N1（車両総重量3.5t以下）
韓国	2013年～	同上
台湾	2013年～	同上
インドネシア、イスラエル、マレーシア、フィリピン、トルコ	2014年～	同上
ロシア	2016年～	同上
中国	検討中(2018年～?)	
日本	検討中(2020年～?)	車両総重量3.5t以下
インド	検討中(2019年～?)	

- トラック/バスの法制化動向

- 欧州（EU）では2020年9月導入を目指し、トラック、トレーラー、バスを対象とした法制化を検討中。日本も欧州法規同様の仕様要件での法制化を検討中
- トラック、トレーラー、バス用LDL製品は、上記欧州法制化要件を既に満たしており、日本での法制化にも迅速、低コストで対応可能

- 新規市場の創造

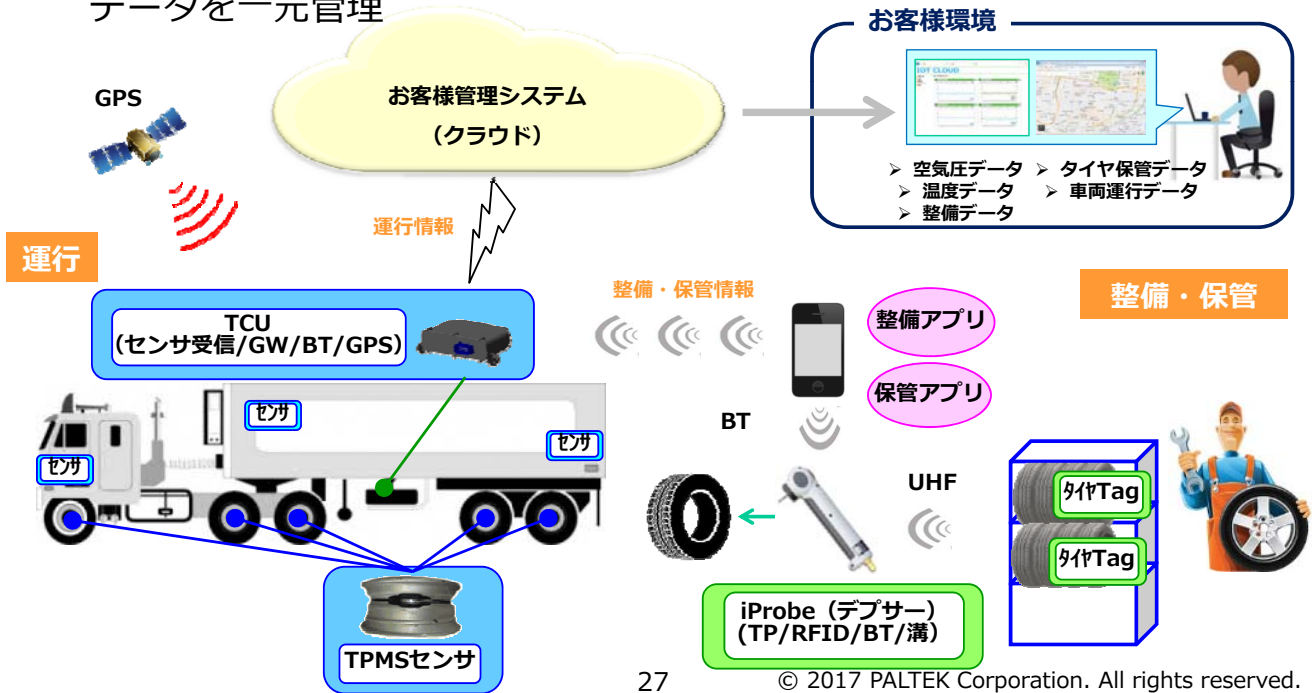
- タイヤ空気圧監視システムは、日本では2020年以降に法制化される可能性あり
- タイヤメーカー、トラックディーラー、大手運送会社、バス会社へタイヤ空気圧監視システムを提案中

- 進捗状況

- 6社でトライアル中
  - 物流事業者
  - バス事業者

# 今後の展開：通信型TPMSの活用事例

- 走行中にタイヤ空気圧モニタリングシステムから公衆無線回線を使用し空気圧、温度および車輻の運行情報を取得し、遠隔管理可能
- タイヤTag(RFID)を活用し、タイヤ保管状況などの履歴情報および整備データを一元管理



# 紙梱包資材ビジネスの販売強化

- 紙梱包資材による物流コストの削減提案を推進
  - 梱包部材コスト削減、保管スペースの削減
  - 作業スピードの効率化
  - 環境への配慮





- 既存の梱包資材から、紙梱包資材への変更提案
  - 各業界の物流が、サードパーティロジスティクスに集約
  - 大手サードパーティロジスティクスを中心に提案中
- 進捗状況
  - 日常雑貨の通販会社で初受注
  - トライアル中 1社
  - トライアル決定 6社
    - 化粧品メーカー、電子部品専門倉庫業者
    - 3PL/一般物流
    - 計測器メーカー、大型機械制御盤メーカー

- 非接触バイタルセンサーを活用した  
保育向け見守りシステムの提供 **LIQUID**
  - 保育士の代わりに赤ちゃんの睡眠を見守るセンサー
  - 体に直接接触することなく睡眠中の呼吸数・体動を検知
  - 乳幼児突然死症候群(SIDS)防止などに活用
  - 2017年9月に東京都など一部の地方公共団体で、助成金の支給が決定
  - すでに20件以上の問い合わせあり



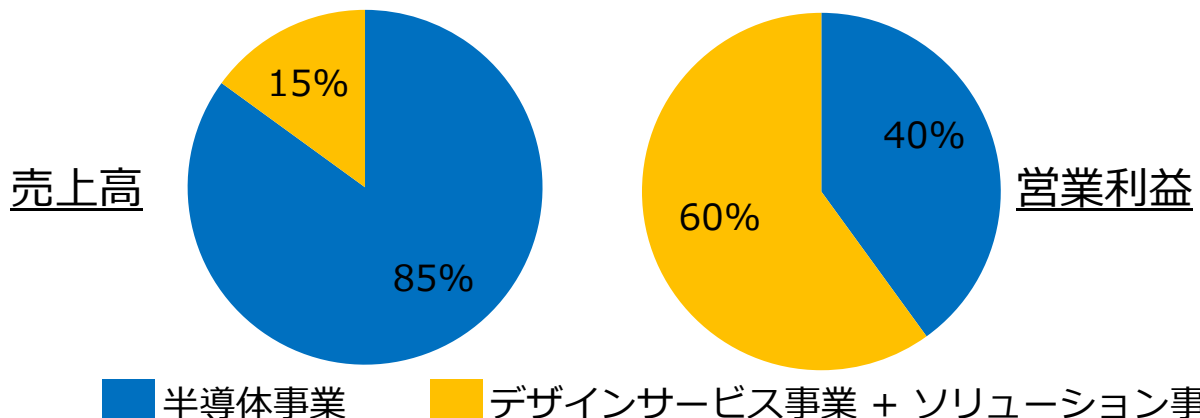
	2018年	2019年	2020年
成長市場ビジネス(半導体)の強化	営業人員増強 顧客拡大	顧客拡大 案件獲得強化	案件獲得の継続
FPGAベースのソリューション 開発・販売	ソリューション 開拓・開発	ソリューション 提案、案件獲得	案件獲得の継続
ODMビジネスの強化	営業人員増強 新規市場開拓	案件獲得	案件獲得の継続
ビデオソリューションの強化	プロモーション 自社製品追加開発	ソリューション提案力 強化、案件獲得	案件獲得の継続
タイヤ空気圧監視システムの 販売強化	プロモーション IoTビジネス構築	プロモーション IoTビジネス展開	販売・顧客拡大 IoTビジネス展開
紙梱包資材ビジネスの販売強化	新規顧客開拓 既存顧客への提案	新規顧客開拓 の継続、案件獲得	案件獲得の継続

: 投資期     
 : 黒字転換期     
 : 利益成長期

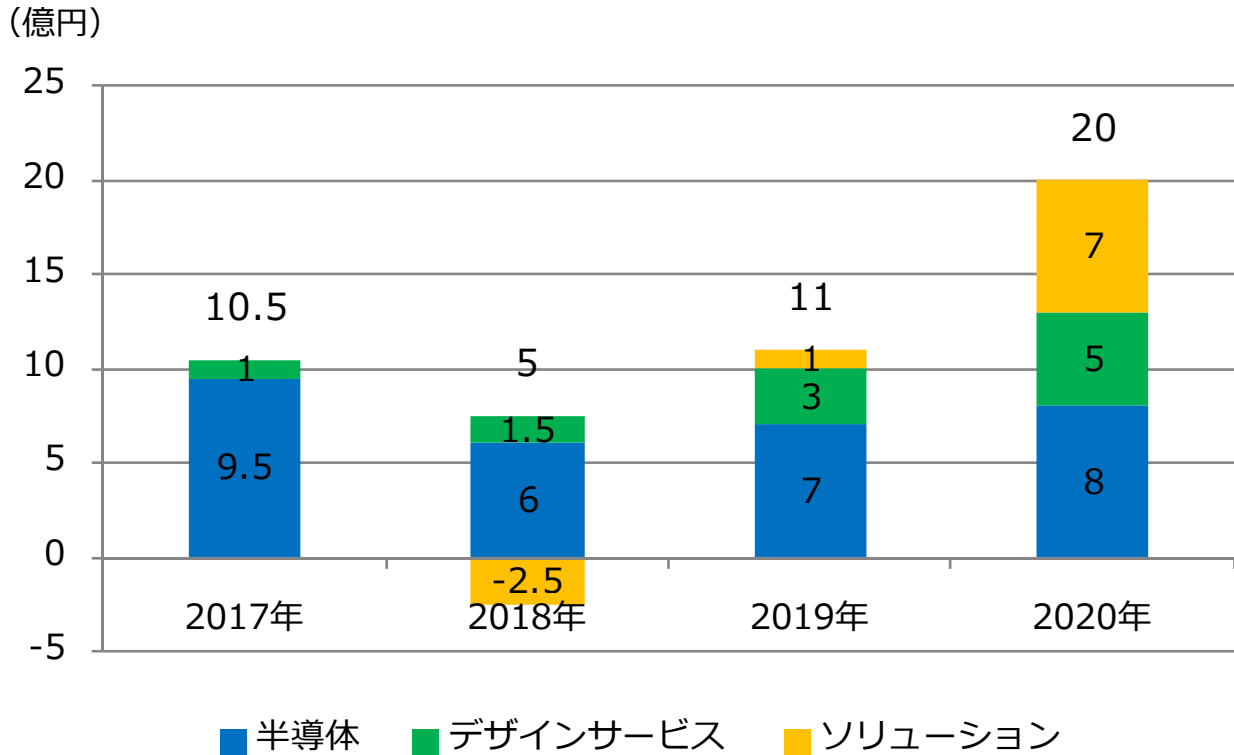
## ■ 数値目標 (2020年)

売上高	400億円以上
営業利益率	5%以上

2020年時の売上高/営業利益の構成イメージ







## ■ 配当方針

- 安定的な配当かつ連結業績に対する配当性向をベースに決定
- 上記の方針に基づき、来期の営業利益を5億円と想定した場合、現時点では1株当たりの配当金は10円を予定

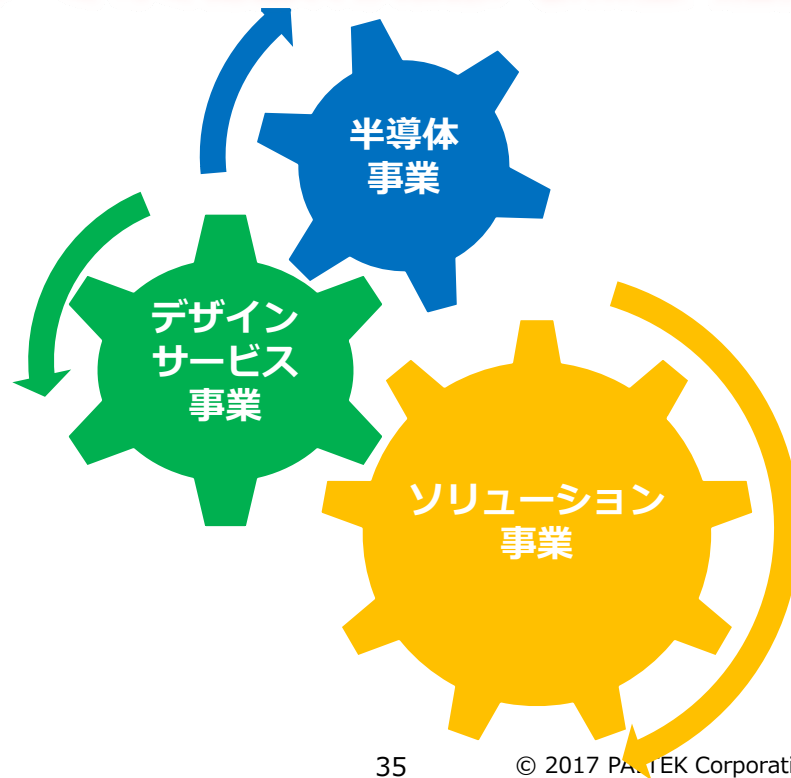
## ■ 株主優待は継続

- 毎年12月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じて、優待品（クオカード）を年1回贈呈



保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
100株以上～500株未満	クオカード500円分	クオカード1,000円分
500株以上～1,000株未満	クオカード1,000円分	クオカード2,000円分
1,000株以上	クオカード2,000円分	クオカード3,000円分

## ソリューション提案力を加速、新市場へ積極展開



以下の担当までお問い合わせ下さい。

### 株式会社PALTEK

柴崎 由記 (総務グループ IR担当)

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-3-12 新横浜スクエアビル

TEL : 045-477-2072

FAX : 045-477-2012

E-mail : [ir@paltek.co.jp](mailto:ir@paltek.co.jp)